

2021 年度ルール Q&A

Q:イリーガルトラベリング(ウオーキング)について

ウオーキングの反則自体が撤廃されることで、「3人目のピボットフット」というのもなくなるのか？

A:今回の改正では、「ボールの動き」を見るので、足の動きは見ない。足は動いても反則にならない。ウオーキングの反則がなくなっている。(もちろん、その反則のジェスチャーもなくなっている)

Q:イリーガルトラベリングについて

4人が集まってボールに触れた後、一人がボールから離れて(助走のため)ヒットしたときは？

A:反則にならない。

Q:上記の助走の人が、ディフェンスの人と接触した場合の反則は？

A:接触の仕方や場所によって反則の種類、反則かどうかが変わってくる。

Q:イリーガルトラベリングについて

ボールの左右の動きは解るが、上下の動きに関してはどうか？

A:上下の動きはイリーガルトラベリングに関係しない。

ディフェンスチームの3番目のプレーヤーがボールに触ってボールがコントロールされた後に、そのチームが意図的にボールの移動を行った場合にイリーガルトラベリングの反則となる。

※注意:意図的なボールの移動とは、そのチームがボールをコントロールしているときに意図的に水平方向にボールの位置を変える行為のこと。

Q:イリーガルトラベリングについて

3人目がボールに触れてからボールがブレたりするのは反則になるのか？

A:ブレるレベルのものは反則にはならない。ボールがコントロールされた後に、そのチームが意図的にボールを水平方向に移動した場合に限る。

Q:イリーガルトラベリングについて

1人目・2人でボールのコントロールができておらず、3人目が蹴ってパスをした場合、反則になるか？

A:ディフェンスチームの3番目のプレーヤーがボールに触る(蹴る)段階で、チームがボールを固定することができる状況だったとレフリーが判断した場合、水平方向に意図的な移動があればイリーガルトラベリングの反則となる。

※3番目のプレーヤーがボールに触ったけれどボールがコントロールされていないならば、4番目のプレーヤーを含む誰でもボールをコントロールするまでボールに触ることができる。

Q: ボディアクシスについて

スイッチ(ボールを二人で持ったまま回転をして位置を変える)で、クローザーと接触した場合、反則になるのか？

A: ボディアクシスに違反したから反則、接触したから反則というわけではなく、イリーガルオフENS、イリーガルディフェンスに関わる状況を引き起こした時の状態においてのみボディアクシスが問題となる。

Q: ボディアクシスについて

しゃがんだとき片方の足がボディアクシスをはみ出すことがあるが、これはどうなるか？

A: ボディアクシスは「肩幅・身長」の定義があるので、ボディアクシスからはみ出していることになる。これは、これまでのルールから変更されていない。ボディアクシス違反という反則はない。イリーガルオフENS、イリーガルディフェンスに関わる状況を引き起こした時の状態においてのみボディアクシスが問題となる。

Q: ヒッター以外でボディアクシスから外れて、接触がなくても邪魔したらイリーガルオフENSの反則になるのか

A: 反則になる場合がある。

Q: 以前は、接触があった場合のみイリーガルディフェンスの反則だったが、今回からは、接触がなくてもイリーガルディフェンスの反則になるのか

A: イリーガルディフェンスの細かな種類にもよるが、2020年以前のルールにも接触がなくても邪魔したらイリーガルディフェンスになるものもあった。

Q: コールについて

分けて言うこと(例 オムニキン(Aさん)ーブル(Bさん))はいいのか？

A: OK。

Q: コールのシンクロナイズドすることについて

A: ルールは、「コールは1人で行ってもよいし、複数で行ってもよいが、同じ言葉を同時に言わなければならない。」同時に同じ言葉を言い、各単語がはっきりと聞こえるのであればコールミスにならない。

Q: コンタクトミスについて

ヒット後(ヒットは水平または下向きであった)、これが別の選手にあたり横方向へ軌道が変わった。(ただし横方向に変わっただけで、上向きの軌道にはなっていない)これは反則か？

A: 反則。軌道が変わったときに、少しでも上向きの部分がなければ、コンタクトミスの反則になる。